



日新
 苟日新 苟に日に新たに
 日日新 日々に新たに
 又日新 又日に新たなり
 出典 「大学」

やめ にっしん

発行: 誇りと夢・まちづくり日新広報部会
 発行日: 2008年12月25日発行
<http://www1.fctv.ne.jp/~nissin-k/>

地区行事から

敬老会特集 出席者のよろこびの声



文里地区 岩堀とみゑさん(84)
 よく歩き、青魚をよく食べる！これが私の健康の秘訣です。その基礎は、遠い昔、女学校の頃、片道8kmの道のりを歩いて通ったことにもあると思います。これからも元気で敬老会に出席し、皆さんと楽しみたいです。



宮島地区 平林栄一さん(82)
 連続8回の出席ですが、毎年、地区主催団体の皆様方から、温かい親切を賜り、感動の日を戴き誠に有り難うございます。残りの人生、健康第一に、感謝の心で明るい日々を送っていく覚悟しております。

乾徳地区 岩佐千鶴子さん(83)
 75歳より9回出席。初めての敬老会では、下手ながら感謝の言葉も披露させて頂きました。その場で知り合いになりお友達も沢山出来ました。敬老会でしかお会いする事がない方もいて楽しみの1つになっております。



堀ノ宮地区 牧田ナツ井さん(85)
 春先から秋にかけては、家のまわりで野菜を作り、埼玉に嫁いだ娘や知人友人に配って喜んでもらうのが何よりの楽しみです。敬老会では、近所の友人や久しぶりに会う知人とおしゃべりしたり、また、子どもたちの歌などで楽しいひとときを過ごさせてもらっています。



乾徳って？ = 町名の由来 =

「乾徳」は、福井市湊小学校百年誌によれば、昭和2年開校した乾尋常高等小学校の五十嵐山平初代校長により考案された、と記されており、当時、学校機関誌「乾徳」が発刊され、同窓会名にもなったが、その「なぜ乾徳」かははっきりしない。表徴として考案された校章については、「乾とは福井市の乾の方角にあたり、易より称すれば陽にあたり乾々の徳、進むことを表しており、△は進展を表し、◇形の角のあるものでは、あまりに強感に当ることなので角を落とし丸めて丸く修め、不断に休むことなく前進の姿であり、乾々の徳をもって努力の意を表している。」と記しており、また「乾徳とは天子の徳、皇后の徳を坤(こん)徳、乾坤は天地、天の徳は剛を尊び地の徳は柔を尊ぶ故に乾剛の徳、坤柔の徳ともいわれ非常に適した文字である。」の記もある。上記「乾々の徳」「乾剛の徳」が由来か？ 昭和24年からしばらく、福井商業高校を乾徳高校と称した。乾徳町1~4丁目は昭和36年8月からである。(T・N)



わがまち匠

和田登喜男さん(58) 大宮5

子どもたちと和太鼓

古くから伝わっている太鼓。太鼓は祭りのにぎわいとして打ち鳴らされ、いろいろな打ち方で村人に行事を知らせ、なかには暴れ川「九頭竜川」の氾濫を知らせる水太鼓も近隣で伝承されています。さて、上里のお祭りに何か賑わいをと、20数年前に最初は大人が、次に子どもたちが太鼓を鳴らせばより多くの人が集まり、また、子どもたちに祭りの思い出が残ると練習を始め、今日まで続いています。子どもたちは太鼓が大好きで、祭りの前2か月の猛練習に取り組みます。練習では上級生は下級生を教え、上手な子は友達に教え、年毎に上達する自分に自信をもち、太鼓を叩いている時は生き生きとしています。

また、私も子どもたちと一緒に太鼓を叩くことができ幸せを感じています。

公民館まつり、敬老会、お祭りで、子どもたちが太鼓を打ち鳴らしてましたら皆さん大きな拍手をお願いします。



公民館中会議室正面に

日新春秋

「和而不同」の扁額がかかげ

「和而不同」の扁額がかかげられている。公民館移転新築の際、中川幾一郎先生が、公民館協議のあり方、まちづくりのキーポイントをこの4文字に託され寄贈されたわけである。▼このフレーズは中国の古典・論語の中に出てくる「子曰く、君子は和して同せず、小人は同じて和せず」の一部で、人と争わず仲良くするけれども、自分の意見というものをしっかりと付和雷同したりすることはしない、主體的につき合うべきである、仲良くするが意見は違おう、という意味である。▼「おれがおれが」の排他的、自己主張人間がぶつかり合えば「協調調和」はあり得ない。おれの考えが最高ではない。年末のこころを「和而不同」を心に、来年もまちづくりの一翼を担おう。

半 可通天



乾徳地区 中辻家
地域の皆様のおかげで、子どもたちはすくすく育っております。



文里地区 水上家
「今夜は、鍋だよ!!お父さん、早く帰れて、よかったね。」 萌野 (小5)

宮島地区 坂井家
孫たちもみんな就職し、下の孫は保母さんになりました。次におばあちゃんは花嫁姿をたのしみに待ちます。



堀ノ宮地区 竹内家
のんびり屋の長男優太 (5歳) ちゃっかりの次男陽人 (1歳) けんかしますが毎日仲良く遊んでいます。



日新地区社協 の活動から



9月、ひまわり児童館での自治会型デイホームに、福井市国際交流員でロシア出身の、イゴルキナ・ビクトリアさんに参加してもらった。雨模様にも関わらず15名のお年寄りが元気に参加。明るい笑顔でビクトリアさんを出迎えました。彼女の出身地、ウラジオストック地方のビデオを見ながら、流暢な日本語で説明を受け、広大なロシア地方や文化についての話を聞きました。

その後、それぞれが色紙でロシアらしい切り絵を習ったりいろいろな模様を作り交流を深めました。尚、このイベントは、福井市国際交流協会のHPにも掲載されています。



<http://www.city.fukui.fukui.jp/soc/kouryu/bukai1/report/report.html>

日新小6年生 総合的な学習

日新小学校6年生(59名)は、今年度における「総合的な学習」の授業のなかで、テーマを「見つけよう 見つめよう 日新の町」とし、子どもたちの自発的な発想をもとに学習活動をすすめています。その活動のねらいは、「自分たちが住んでいる地域に目を向け、たくさんの方がこの地区を支えていることを知り、自分たちに何ができるかを考え実践していくことで、地域への愛着をもてるようにする」ということとしました。また、願わくば将来地域を支える担い手としての意識づけになればと考えました。

◆ここで活動の内容を紹介します。
 ・底喰川を美しくしようグループ
 ・EMを広めようグループ
 ・花壇に花をグループ
 ・公園をきれいにしようグループ
 ・地区の良い所を調べようグループ
 これらの5つのグループのいずれかに参加し、5月より今日に至っています。2月にはそれらをまとめた発表会を予定しています。



クラスみんなで持ち寄った米のとぎ汁から作ったEM液を流す

誇りと夢 わがまち創造事業

防犯部会

9月27日の三世代合同パトロールには、多数の参加を頂きまして誠にありがとうございました。今後は、年度内に見守り隊の再結成を目標に、取り組んで参ります。また、防犯に関する講習会等を開催したいと思っておりますので、多くの方々の参加を期待します。最後に、地区住民の方々の防犯意識の高揚に努めていきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



200人近い参加がありました!

文化部会

9月13日「秋の七草観賞とお月見だんごづくり」を開催しました。フルートの演奏でムードも高まり、秋を満喫しました。



11月2日の館外研修は48名が参加、路面電車に乗って越前市に出かけました。「蔵の辻」のまちなかを散策したり、源氏物語千年紀にちなんだ菊人形を見物して、深まりゆく秋の日のひとときを楽しみました。

今年もボラネット“上里トライアングル”のメンバーと秋の花植え作業



環境部会

10月26日環境を考え、関心を持つとう「エコキャンドルの作製」に32名が体験しました。作製の前に「エコキャンドルがなぜ環境なのか?」「私にできること」などを紙芝居で学びました。

油が熱すぎ容器が変形するハプニングもありましたが、約100個を作りました。子どもが考えた絵をもとにアートを!もらったものと併せ約300個のキャンドルに点火しました。あいにく風が強くて完全とはいえませんが、それでもほのかで心温まる灯火に、思わず歓声上がり、満足の気持を感じることができました。



早速できたカラフルなエコキャンドルで日新シンボルマークが完成!